

北興商事 株式会社

DX宣言書

2026年4月30日
北興商事 株式会社
代表取締役社長 中村 信太

□ 経営理念

- 【利他考働】人の為になることは自分の為にもなります
- 【人知無限】人の知恵は無限大です

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の活用により、現行業務の標準化・効率化を推進するとともに、データ分析による課題特定や業務改善を継続的に進める基盤を整えます
- ◆ 業務負担を軽減し、社員がそれぞれの能力を最大限に発揮できる環境を整えることで、働きやすく成長できる職場を目指します

□ DX戦略・施策

▶ フェーズ1(現在 ~ 2026年6月)

戦略 「現行業務の標準化・効率化と全社展開に向けた基盤整備」

- 施策
- ・ 既に推進中の業務標準化に向けたマニュアルやOJTカリキュラムの整備を完遂
 - ・ 生産管理・在庫管理デジタル化のテスト運用結果を踏まえ、入力項目や運用ルールの最適化を行い、全社展開に向けた運用基盤を整備
 - ・ 紙および電子マニフェストの一元管理に向けて、管理状況の整理と統合台帳の設計・試験運用を実施
 - ・ 全社一丸となった取り組みにするため、社員に対する説明会および定例会を実施

▶ フェーズ2(2026年7月 ~ 2028年3月)

戦略 「更なるDX推進および蓄積データの有効活用」

- 施策
- ・ マニュアルやOJTカリキュラムを活用し、統一された作業手順を習得できるようトレーニングを実施
 - ・ 生産管理・在庫管理デジタル化の定着に向けて、運用状況のモニタリングと改善を行うとともに、各種業務データの連携・可視化・分析が可能な環境を整備
 - ・ マニフェスト管理業務の効率化に向けて、電子マニフェストへの移行推進および紙・電子を統合した管理体制を構築
 - ・ 配車業務の標準化およびデータ活用に向けて、配車実績や車両・人員情報を整理した上で、蓄積したデータを分析・活用可能とする運用および環境を整備
 - ・ 営業活動の効率化および引き継ぎの円滑化に向けて、名刺管理アプリ等を活用した顧客情報の一元管理および営業履歴の蓄積を推進

▶ フェーズ3(2028年4月 ~ 2030年3月)

戦略 「データドリブン経営の実現」

- 施策
- ・ 将来的な基幹システム導入に向けて、各種業務データの蓄積およびマスタ整備を通じたデータ基盤を構築
 - ・ 業務効率化と収益性向上に向けて、蓄積されたデータの分析を行い、原価管理の精緻化および最適な意思決定を支援する仕組みを構築
 - ・ 配車業務の効率化に向けて、蓄積されたデータを基にAI等を活用した配車計画の最適化や業務改善に繋げる運用を推進・定着
 - ・ 人材定着率向上に向けて、人材育成計画の策定や人事評価制度の見直し等を行いキャリアプランを明確化

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 再資源化率 : 2024年度比 50%アップ(~2030年3月)
- ・ 回収効率 : 2024年度比 60%アップ(~2030年3月)
- ・ 新規顧客率 : 2024年度比 20%アップ(~2030年3月)
- ・ 人材定着率 : 90%以上を達成(~2030年3月)